

平成31年1月8日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

## 調査事項

### ● 平成31年度国民健康保険税の税率について ●

#### ～内容～

国民健康保険税の決定までのスケジュール等について調査するもの

#### ～質疑～

**問：岡山県に約1億円を納付金として返還するために、基金を取り崩すということだが、今後もこのやり方で対応するのか。**

答：今回の増額要因は、岡山県からの前期高齢者交付金のもらい過ぎていた部分を返還するもので、その部分については基金を積み立てていることから、平成31年度については基金を崩すという対応を考えている。

### ● 総社市自殺対策推進計画について ●

#### ～内容～

総社市自殺対策推進計画の策定状況について調査するもの

#### ～質疑～

**問：総社市自殺対策連絡協議会の委員のメンバー構成はどうか。**

答：備中保健所所長、吉備医師会会長、倉敷中央公共職業安定所総社出張所所長、商工会議所事務局次長、社会福祉協議会事務局次長、民生委員児童委員協議会会長、愛育委員協議会会長、栄養委員協議会会長、岡山県立大学大学院特任教授、こころの医療たいよの丘ホスピタルの職員、岡山いのちの電話協会事務局長、学校保健会校長代表、NPO法人きよね夢てらす子育て応援こっこ常勤スタッフの合計13名である。

**問：学校現場や教育現場については、どのように考えているのか。**

答：庁内で連絡調整会議を設けている。メンバーには教育委員会の課長も入り情報共有を図った上で、学校保健会校長代表に自殺対策連絡協議会へ出席していただくよう考えている。

## ● 子どもを虐待から守る取組について ●

### ～内容～

子どもを虐待から守る取組について調査するもの

### ～質疑～

**問：虐待をさせない取組というのはどのように考えているのか。**

答：教育部局とこども課をワンフロア化して、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援をしている。保健師職の母子保健コーディネーターが常駐し、特に予防という観点で妊娠届出時から、精神面や体調管理など子育てをしていくために必要な情報を提供し、きめ細かく対応している。

**問：警察とどのようにして関係を強化するのか。**

答：要保護児童対策地域協議会には、警察署の生活安全課長に委員として入っていただき、常に同じ情報を共有できるようにしている。

### 当局からの報告事項

## ● 救急から在宅までの医療体制整備に関する意見書について ●

### ～内容～

平成 30 年 11 月に本市に提出された意見書の概要について報告を受けました。

## ● 幼児教育の無償化について ●

### ～内容～

幼児教育の無償化について、現段階の状況について報告を受けました。

## ● 総社小学校改築工事の進捗状況について ●

### ～内容～

総社小学校改築工事の進捗状況について報告を受けました。

● 新学校給食調理場建設工事の進捗状況について ●

～内容～

新学校給食調理場建設の進捗状況について報告を受けました。

● 新認定こども園建設工事の進捗状況について ●

～内容～

新認定こども園建設の進捗状況について報告を受けました。